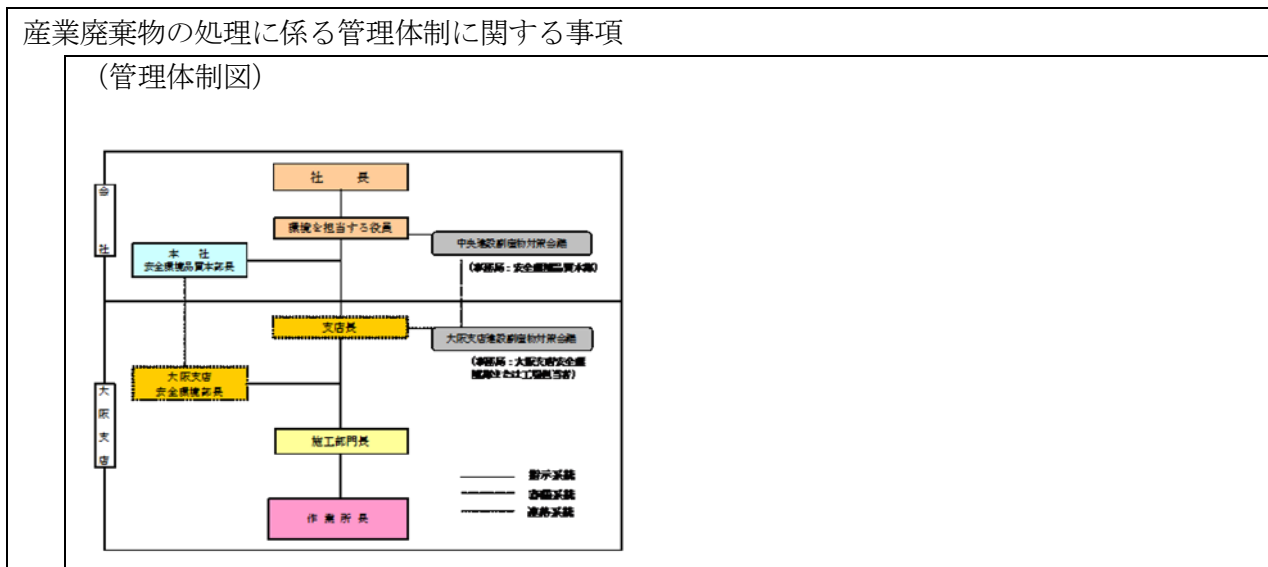


(第1面)

<p>産業廃棄物処理計画書</p> <p>令和 3年 6月 23日</p> <p>和歌山県知事 殿</p> <p>提出者</p> <p>住 所 大阪府大阪市北区豊崎3-19-3 ピアスタワー16F</p> <p>氏 名 東急建設株式会社関西支店 執行役員支店長 薬丸 歩 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)</p> <p>電話番号 06-6377-6522</p> <p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	東急建設株式会社関西支店 和歌山県管轄内事業場
事業場の所在地	和歌山県管轄区域内
計画期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	0600 総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高 17,729百万円(令和2年度)
③従業員数	178名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	各種廃棄物→極力分別収集し、処理委託会社で中間処理し再資源化、残渣物を最終処分 混合廃棄物 →処理委託会社にて選別後中間処理し再資源化、残渣物を最終処分等



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙集計用シートのとおり
	排出量	t
	(これまでに実施した取組) 工法の検討による排出量抑制	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙集計用シートのとおり
	排出量	t
	(今後実施する予定の取組) 工程後戻りによる無駄の排除	

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類 (コンクリート、アスファルト)、廃油、廃プラスチック、紙くず、木くず、建設汚泥、金属くず (スクラップ)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状維持

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計用シートのとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計用シートのとおり	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 予定なし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計用シートのとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組) なし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計用シートのとおり	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組) 予定なし			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	別紙集計用シートのとおり t	t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	別紙集計用シートのとおり t	t
	(今後実施する予定の取組) 予定なし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	別紙集計用シートのとおり	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	別紙集計用シートのとおり	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

産業廃棄物処理計画書の【集計用シート】

- ・下表にない種類の産業廃棄物については、「産業廃棄物の種類」欄に、品目名を記載してください。
- ・行が不足すれば、適宜追加してください。

産業廃棄物の種類	① 排出量(t)		② 自ら直接再生利用した量(t)		③ 自己置種埋立処分又は海洋投入処分した量(t)		④ 自ら中間処理した量(t)		⑤ ④のうち熱回収を行った量(t)		⑥ 自ら中間処理した後の残さ量(t)		⑦ 自ら中間処理により減量した量(t)		⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量(t)		⑨ 自ら中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量(t)		⑩ 直接及び自ら自己処理した後の処理委託量(t)	(注＝①-②-③-④+⑤-⑥-⑦-⑧+⑨+⑩+⑪+⑫+⑬)											⑭+⑮自ら再生利用を行った量(t)		⑯+⑰自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量(t)												
		前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	委託先による区分											前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標													
																		⑪再生利用者への処理委託量(t)		⑫熱回収認定業者への処理委託量(t)	⑬熱回収認定業者以外の熱回収業者への処理委託量(t)	⑭その他の中間処理委託量(t)	⑮埋立処分委託量(t)	⑯優良認定処理業者への処理委託量(t)																					
法で定められている種類(シュレフダークラストなど、一律不可分のものについては、空欄行に記載してください。)	当該事業場において生じた産業廃棄物の種類ごとの量			①の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量		①の量のうち、中間処理をせず自ら埋立処分又は海洋投入処分した量		①の量のうち、自ら中間処理した産業廃棄物の当該中間処理前の量		④の量のうち熱回収を行った量		⑥の量から⑦の量を差し引いた量		⑧の量のうち、自ら利用し又は他人に売却した量		⑨の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量		中間処理及び最終処分を委託した量		⑫の量のうち、処理業者への再生利用委託量(⑬、⑭を除く)		⑫の量のうち、認定熱回収施設設置者である処理業者への焼却処理委託量		⑫の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量		⑫の量のうち、委託して焼却等の中間処理した量(⑭～⑯を除く)		⑫の量のうち、直接委託して埋立処分した量		⑮の量のうち、優良認定処理業者への委託処理量		⑭の量と⑮の量を合計したもの(自動計算)		⑯の量と⑰の量を合計したもの(自動計算)											
燃え殻																																0	0	0	0										
汚泥	1,047	10															1,047	10	1,047	10										81	3	0	0	0	0										
廃油																																	0	0	0	0									
廃酸																																		0	0	0	0								
廃アルカリ																																			0	0	0	0							
廃プラスチック類	7	11															7	11	7	11										6	8	0	0	0	0										
ゴムくず																																			0	0	0	0							
金属くず																																				0	0	0	0						
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず																																					0	0	0	0					
鋸さい																																						0	0	0	0				
がれき類	179	5,160															179	5,160	179	5,160											0	0	0	0	0	0	0	0							
ばいじん																																						0	0	0	0				
紙くず	3	4															3	4	3	4													2	2	0	0	0	0							
木くず	1,723	83															1,723	83	1,723	83											9	4	0	0	0	0	0	0							
繊維くず																																						0	0	0	0				
動植物性残渣																																							0	0	0	0			
動物系固形不変物																																								0	0	0	0		
石綿含有産業廃棄物																																								0	0	0	0		
廃石膏ボード																																									0	0	0	0	
混合廃棄物(安定型)																																									0	0	0	0	
混合廃棄物(管理型)	4	125															0	0	1	70											3	55	3	110	0	0	0	0	0	0					
																																										0	0	0	0
合計	2,964	5,393	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,959	5,268	2,960	5,338	0	0	0	0	0	0	0	3	55	101	127	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				

(注1)トン未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。